

令和元年度第1回日進市高齢者福祉・介護保険事業運営協議会

次 第

と き 令和元年7月29日（月）

午後2時～

ところ 日進市役所 本庁舎4階 第3会議室

1 あいさつ

2 議事

（1）第7期にっしん高齢者ゆめプラン実施状況について

（2）第8期にっしん高齢者ゆめプランについて

3 その他

日進市高齢者福祉・介護保険事業運営協議会委員 名簿

	氏 名	部会	選任する内容	備 考
1	◎ 田川 佳代子	包括	学識経験を有する者	愛知県立大学 教育福祉学部教授
2	○ 井手 宏	密着	保健・医療・福祉 関係者	東名古屋医師会 日進支部
3	山岡 林二	包括		愛豊歯科医師会 日進支部
4	浅井 考介	密着		日進市薬剤師会
5	木村 誠子	包括		愛知県瀬戸保健所
6	小林 宏子	密着		介護相談員
7	丹羽 一生	密着		日進市民生委員児童委員
8	小林 正信	包括		日進市社会福祉協議会
9	大山 英之	密着	介護サービス、介護予 防サービスの事業者	医療法人財団 愛泉会
10	藤嶋 日出樹	包括		社会福祉法人 日進福祉会
11	大川 彰治	密着		有限会社 三ヶ所
12	山中 隆生	包括		社会福祉法人 愛知三愛福祉会
13	諏訪 正美	密着		特定非営利活動法人 健やかネットワーク
14	千葉 佳代子	包括	介護保険被保険者 (公募の市民)	
15	山口 朝子	密着		
16	神野 建三	包括	市長が必要と認める者	日進市老人クラブ連合会

◎会長 ○副会長

任期：令和3年3月31日まで

第7期　　にっしん高齢者ゆめプラン　取組状況調査シート

<基本理念>共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み 【担当】	29年度 (初期値)	30年度	32年度 (目標値)
1	いつまでも健康でいられるまち		・主観的健康感：82.9％ ・要介護等認定率：14.6％		・主観的健康感：90.0％ ・要介護等認定率：14.8％
		(1) 健康づくり活動の促進			
		①生活習慣病の対策 【健康課】 ・生活習慣病の予防 【健康課】 ・食生活支援、食生活改善推進員の養成	・にっしん体操講習会：開催回数1回／年 ・食生活改善推進員活動数：31名 ・健康講座等参加者数：8回　延べ321名	・にっしん体操講習会：開催回数1回／年 ・食生活改善推進員活動数：16名 ・健康講座等参加者数：8回　延べ402名	・にっしん体操講習会：開催回数1回／年 ・食生活改善推進員活動数：35名 ・健康講座等参加者数：延べ350名
		②健康診査・がん検診、特定保健指導等の充実 【保険年金課・健康課】 ・健康診査、がん検診等の推進 【保険年金課・健康課】 ・企業との連携 【保険年金課】 ・特定保健指導 【保険年金課】 ・糖尿病重症化予防 【保険年金課】 ・国保医療データの活用	・特定健康診査受診率：41.5％ ・がん検診受診率：－％ ・骨検診受診者数：598名 ・特定保健指導実施率：17.6％ ・人工透析患者数：31人 ・被保険者一人当たり医療費：315,783円	・特定健康診査受診率：40.4％（暫定値） ・がん検診受診率：－％ ・骨検診受診者数：685名 ・特定保健指導実施率：18.6％（暫定値） ・人工透析患者数：28人 ・被保険者一人当たり医療費：327,242円	・特定健康診査受診率：51.0％ ・がん検診受診率：50％ ・骨検診受診者数：760名 ・特定保健指導実施率：30.0％ ・人工透析患者数：25人 ・被保険者一人当たり医療費：330,207円
		③市民主体の活動支援 ・つどいの場による自主的な介護予防活動 【地域福祉課（地域支援係）】 ぷらっとホーム ほっとカフェ 【地域福祉課（地域支援係）・社会福祉協議会】 ふれあい・いきいきサロン 【健康課】 にっしん体操スポット 【地域福祉課（地域支援係）・社会福祉協議会】 ・つどいの場運営助成	・つどいの場：61箇所 ・ぷらっとホーム：6箇所 ・ほっとカフェ：19箇所 ・ふれあい・いきいきサロン：13箇所 ・にっしん体操スポット：17箇所 ・その他：6箇所 ・つどいの場運営助成：7団体、362,387円	・つどいの場：67箇所 ・ぷらっとホーム：6箇所 ・ほっとカフェ：21箇所 ・ふれあい・いきいきサロン：13箇所 ・にっしん体操スポット：20箇所 ・その他：7箇所 ・つどいの場運営助成：15団体、645,943円	・つどいの場：65箇所 ・ぷらっとホーム：6箇所 ・ほっとカフェ：20箇所 ・ふれあい・いきいきサロン：14箇所 ・にっしん体操スポット：18箇所 ・その他：7箇所 ・つどいの場運営助成：10団体、500,000円
		④身近な地域での健康づくり、介護予防の普及 【健康課】 ・地域における健康づくりの普及・啓発 ・運動普及推進員による普及活動 ・にっしん健康マイレージの推進 ・ヘルピーウォーキングマップの周知 【福祉会館】 ・おたっしやハウスの実施 ・コミュニティサロンの実施	・老人クラブや出前講座等地域における健康教育回数：延べ114回（延べ2,464名） ・運動普及推進員活動数：19名 ・にっしん健康マイレージ まいかカード交付者：276名 ・おたっしやハウス 6箇所　230回　延べ参加数11,461名 （1回あたり平均参加者数　49.8名） ・コミュニティサロン 6箇所　225回　延べ参加数4,665名 （1回あたり平均参加者数　20.7名）	・老人クラブや出前講座等地域における健康教育回数：延べ83回（延べ1,683名） ・運動普及推進員活動数：26名 ・にっしん健康マイレージ まいかカード交付者：808名 ・おたっしやハウス 6箇所　245回　延べ参加数12,487名 （1回あたり平均参加者数　49.8名） ・コミュニティサロン 6箇所　221回　延べ参加数4,586名 （1回あたり平均参加者数　20.8名）	・地域における健康教育回数：115回 ・運動普及推進員活動数：30名 ・にっしん健康マイレージ まいかカード交付者：500名 ・おたっしやハウス 6箇所　週1回開催 （1回あたり平均参加者数　60名） ・コミュニティサロン 6箇所　週1回開催 （1回あたり平均参加者数　30名）
		⑤専門職を活用した健康づくり 【地域福祉課（地域支援係）】 ・足腰お達者クラブ （介護予防・生活支援サービス） ・健口健食元気クラブ （介護予防・生活支援サービス） ・ゆうゆう体操教室（一般介護予防事業） ・日進おはなしひろば（一般介護予防事業） ・つどいの場専門職派遣（一般介護予防事業）	・足腰お達者クラブ 8コース・各12回　延べ参加数1,161名 ・健口健食元気クラブ 2コース・各12回　延べ参加数162名 ・ゆうゆう体操教室、地域版介護予防教室 開催箇所数1箇所、開催回数46回、 延べ参加者数1,592名 ・日進おはなしひろば 全47回　延べ参加数382名 ・つどいの場専門職派遣：39回	・足腰お達者クラブ 8コース・各12回　延べ参加数1,029名 ・健口健食元気クラブ 2コース・10回及び6回　延べ参加数145名 ・ゆうゆう体操教室、地域版介護予防教室 開催箇所数2箇所、開催回数56回、 延べ参加者数2,273名 ・日進おはなしひろば 全48回　延べ参加数358名 ・つどいの場専門職派遣：37回	・足腰お達者クラブ 8コース・各12回　延べ参加数1,200名 ・健口健食元気クラブ 1コース・6回　延べ参加数60名 ・ゆうゆう体操教室、地域版介護予防教室 開催箇所数3箇所、開催回数100回、 延べ参加者数3,000名 ・日進おはなしひろば 全47回　延べ参加数400名 ・つどいの場専門職派遣：50回
		⑥生涯スポーツの推進 【生涯学習課】	・日進市総合型地域スポーツクラブ にっしんスポーツクラブ60歳以上向け健康講座 岩崎・梅森・赤池地区等で4講座開催	・日進市総合型地域スポーツクラブ にっしんスポーツクラブ60歳以上向け健康講座 岩崎・梅森・赤池・米野木地区等で4講座開催	・日進市総合型地域スポーツクラブ にっしんスポーツクラブ60歳以上向け健康講座 岩崎・梅森・赤池・米野木地区等で5講座開催

第7期　　にっしん高齢者ゆめプラン　取組状況調査シート

<基本理念>共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み 【担当】	29年度 (初期値)	30年度	32年度 (目標値)
	(2) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進				
		①介護予防・生活支援サービス事業の充実 【地域福祉課（地域支援係）】 ・訪問型サービス ・通所型サービス ・その他の生活支援サービス ・介護予防ケアマネジメント	・訪問型サービス（現行相当、A型）実施状況 現行相当：5箇所、A型：14箇所 ・通所型サービス（現行相当、A型）実施状況 現行相当：17箇所、A型：9箇所 ・介護予防ケアマネジメント実施件数 平成30年3月提供分：269件	・訪問型サービス（現行相当、A型）実施状況 現行相当：26箇所、A型：14箇所 ・通所型サービス（現行相当、A型）実施状況 現行相当：33箇所、A型：14箇所 ・介護予防ケアマネジメント実施件数 平成30年3月提供分：281件	・訪問型サービス（現行相当、A型）実施状況 現行相当：26箇所、A型：14箇所 ・通所型サービス（現行相当、A型）実施状況 現行相当：33箇所、A型：14箇所 ・介護予防ケアマネジメント実施件数 令和2年3月提供分：300件
		②一般介護予防事業の充実 【地域福祉課（地域支援係）】 ・介護予防把握事業 ・介護予防普及活動事業 ・地域介護予防活動支援事業 ・一般介護予防事業評価事業 ・地域リハビリテーション活動支援事業	・介護予防講演会開催数1回／年 ・ゆうゆう体操教室、 地域版介護予防教室（再掲） 開催箇所数1箇所、開催回数46回、 延べ参加者数1,592名 ・日進おはなしひろば（再掲） 全47回 延べ参加数382名 ・つどいの場専門職派遣（再掲）：39回 ・介護支援ボランティア ボランティア登録人数 107人 受入施設：16施設	・介護予防講演会開催数2回／年 ・ゆうゆう体操教室、 地域版介護予防教室（再掲） 開催箇所数2箇所、開催回数56回、 延べ参加者数2,273名 ・日進おはなしひろば（再掲） 全48回 延べ参加数358名 ・つどいの場専門職派遣（再掲）：37回 ・介護支援ボランティア ボランティア登録人数 120人 受入施設：21施設	・ゆうゆう体操教室、 地域版介護予防教室（再掲） 開催箇所数3箇所、開催回数100回、 延べ参加者数3,000名 ・日進おはなしひろば（再掲） 全47回 延べ参加数400名 ・つどいの場専門職派遣（再掲）：50回 ・介護支援ボランティア ボランティア登録人数 130人 受入施設：25施設
	(3) 就労・社会参加機会の拡充				
		①高齢者の活動機会の提供 【生活安全課】 ・くるりんばす等による外出支援 【地域福祉課（地域支援係）】 ・つどいの場活動支援 【地域福祉課（福祉政策係）】 ・シルバー人材センターの活動支援 【生涯学習課】 ・生涯学習の場の充実、情報提供	・くるりんばす 高齢者定期券のべ購入月数 4,455か月分／年 ・つどいの場運営助成（再掲） 7団体、362,387円 ・つどいの場専門職派遣（再掲）：39回 ・シルバー人材センター会員数（再掲）：545名 ・いきいきシルバースクール 3箇所各13回 延参加者数655人 ・市ホームページ。市広報紙、生涯学習情報誌、 講座募集チラシ等による情報提供	・くるりんばす 高齢者定期券のべ購入月数 3,980か月分／年 ・つどいの場運営助成（再掲） 15団体、645,943円 ・つどいの場専門職派遣（再掲）：37回 ・シルバー人材センター会員数：535名 ・いきいきシルバースクール 4箇所各13回 延参加者数815人 ・市ホームページ。市広報紙、生涯学習情報誌 講座募集チラシによる情報提供	・くるりんばす 高齢者定期券のべ購入月数 4,678か月分／年 ・つどいの場運営助成 10団体、500,000円 ・つどいの場専門職派遣：50回 ・シルバー人材センター会員数：630名 ・いきいきシルバースクール 4箇所各13回 延参加者数873人 ・市ホームページ。市広報紙、生涯学習情報誌 講座募集チラシによる情報提供
		②担い手としての社会参加推進 【地域福祉課（地域支援係）】 ・生活支援コーディネーター、コミュニティソーシャル ワーカー（CSW）による支援 ・社会参加しやすい環境づくり	・生活支援コーディネーター 第1層配置数：2名、第2層配置数：3名 ・協議体 第1層協議体開催回数：1回／年 第2層協議体開催回数：0回／年 ・コミュニティソーシャルワーカー 配置数：2名、相談件数：73件	・生活支援コーディネーター 第1層配置数：2名、第2層配置数：3名 ・協議体 第1層協議体開催回数：1回／年 第2層協議体開催回数：各1回／年 ・コミュニティソーシャルワーカー 配置数：2名、相談件数：204件	・生活支援コーディネーター 第1層配置数：2名、第2層配置数：3名 ・協議体 第1層協議体開催回数：2回／年 第2層協議体開催回数：各3回／年 ・コミュニティソーシャルワーカー 配置数：2名、相談件数：250件
		③就労、社会参加の場の確保 【地域福祉課（福祉政策係）】 ・シルバー人材センターの活動支援 【地域福祉課（地域支援係）】 ・介護支援ボランティア事業 （にっしんおたっしやボランティア）の充実 ・地域の主体的な取組支援	・シルバー人材センター会員数（再掲）：545名 ・介護支援ボランティア（再掲） ボランティア登録人数：107人 受入施設：16施設	・シルバー人材センター会員数（再掲）：535名 ・介護支援ボランティア（再掲） ボランティア登録人数：120人 受入施設：21施設	・シルバー人材センター会員数（再掲）：630名 ・介護支援ボランティア（再掲） ボランティア登録人数：130人 受入施設：25施設
		④生涯学習の推進 【生涯学習課】	・にっしん市民教室 16講座 160回 延参加者数3,164人 ・いきいきシルバースクール（再掲） 3箇所各13回 延参加者数655人	・にっしん市民教室 16講座 160回 延参加者数5,371人 ・いきいきシルバースクール（再掲） 4箇所各13回 延参加者数815人	・にっしん市民教室 16講座 160回 延参加者数4,068人 ・いきいきシルバースクール 4箇所各13回 延参加者数873人

第7期 にっしん高齢者ゆめプラン 取組状況調査シート

<基本理念>共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み 【担当】	29年度 (初期値)	30年度	32年度 (目標値)
2	在宅で生活し続けられるまち		・在宅医療・介護連携システム（「健やかにっしん・ヘルピーネット」）のアカウント数：59件		・在宅医療・介護連携システム（「健やかにっしん・ヘルピーネット」）のアカウント数：89件
		(1) 在宅医療と介護連携の推進			
		①地域の医療・介護の資源の把握 【地域福祉課（地域支援係）】	・訪問診療を行う医療機関数：24 ・認知症サポート医数：9人	・訪問診療を行う医療機関数：24 ・認知症サポート医数：9人	・訪問診療を行う医療機関数：25 ・認知症サポート医数：12人
		②在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 【地域福祉課（地域支援係）】 【介護福祉課】 【保険年金課】 【健康課】	・地域包括ケア検討会議 開催回数：4回／年 ・在宅医療・介護連携に関する検討部会 開催回数：1回／年	・地域包括ケア検討会議 開催回数：2回／年 ・在宅医療・介護連携に関する検討部会 開催回数：1回／年	・地域包括ケア検討会議 開催回数：4回／年 ・在宅医療・介護連携に関する検討部会 開催回数：2回／年
		③切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 【地域福祉課（地域支援係）】 ・人生の最終段階における医療	・在宅医療・介護連携に関する検討部会（再掲） 開催回数：1回／年	・在宅医療・介護連携に関する検討部会（再掲） 開催回数：1回／年	・在宅医療・介護連携に関する検討部会 開催回数：2回／年
		④医療・介護関係者の情報共有の支援 【地域福祉課（地域支援係）】 ・在宅医療・介護連携システムの活用	・電子@連絡帳 登録者数：179人 登録機関数：103機関 うち 病院・クリニック 21機関 歯科医院 32機関 薬局 21機関 訪問看護 5機関 訪問介護 0機関 居宅介護支援事業所 13機関	・電子@連絡帳 登録者数：197人 登録機関数：111機関 うち 病院・クリニック 24機関 歯科医院 32機関 薬局 23機関 訪問看護 5機関 訪問介護 0機関 居宅介護支援事業所 14機関	・電子@連絡帳 登録者数：200人 登録機関数：120機関 うち 病院・クリニック 25機関 歯科医院 35機関 薬局 25機関 訪問看護 5機関 訪問介護 5機関 居宅介護支援事業所 15機関
		⑤在宅医療・介護連携に関する相談支援 【地域福祉課（地域支援係）】 ・在宅医療・介護連携支援センターの設置・運営	・在宅医療・介護連携支援センター（やまびこ日進） 相談件数：一件／年	・在宅医療・介護連携支援センター（やまびこ日進） 相談件数：20件／年	・在宅医療・介護連携支援センター（やまびこ日進） 相談件数：20件／年
		⑥医療・介護関係者の研修の充実 【地域福祉課（地域支援係）】 ・医療と介護の多職種連携研修会	・医療介護連携のための多職種研修会 開催回数：3回／年 ・薬剤師会との交流会：1回／年	・医療介護連携のための多職種研修会 開催回数：1回／年 ・薬剤師会との交流会：1回／年	・医療介護連携のための多職種研修会 開催回数：3回／年 ・薬剤師会との交流会：1回／年
		⑦市民への普及啓発 【地域福祉課（地域支援係）】	・講演会、出前講座等の開催数：2回／年	・講演会、出前講座等の開催数：6回／年	・講演会、出前講座等の開催数：3回／年
		⑧関係自治体との広域的な連携 【地域福祉課（地域支援係）】	・東名古屋医師会連携会議開催数：5回／年 ・日進・東郷医療介護連携会議：1回／年	・東名古屋医師会連携会議開催数：3回／年 ・日進・東郷医療介護連携会議：1回／年	・東名古屋医師会連携会議開催数：5回／年 ・日進・東郷医療介護連携会議：1回／年
		(2) 高齢者の住まいの確保			
		①高齢者の居住安定に係る施策の連携 【介護福祉課】	・緊急通報システムの取り付け：延127人／年 ・訪問理美容サービス：延48人／年 ・エコサポート：延4334人／年 ・配食サービス：延103人／年 ・寝具洗濯乾燥サービス：延5人／年 ・日常生活用具の給付：延0人／年 ・シルバーサポートサービス：延11人／年	・緊急通報システムの取り付け：延113人／年 ・訪問理美容サービス：延48人／年 ・エコサポート：延4881人／年 ・配食サービス：延97人／年 ・寝具洗濯乾燥サービス：延5人／年 ・日常生活用具の給付：延1人／年 ・シルバーサポートサービス：延6人／年	・緊急通報システムの取り付け：延133人／年 ・訪問理美容サービス：延50人／年 ・エコサポート：延4550人／年 ・配食サービス：延108人／年 ・寝具洗濯乾燥サービス：延5人／年 ・日常生活用具の給付：延2人／年 ・シルバーサポートサービス：延12人／年
		②住宅改修等による住環境整備 【介護福祉課】 ・リフォームヘルパー制度 ・住まいの情報発信	・リフォームヘルパー実施件数：34件／年	・リフォームヘルパー実施件数：33件／年	・リフォームヘルパー実施件数：36件／年

第7期　　にっしん高齢者ゆめプラン　取組状況調査シート

<基本理念>共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み 【担当】	29年度 (初期値)	30年度	32年度 (目標値)
3	(3) 地域包括支援センターの機能強化				
		①地域包括支援センターの機能強化 【地域福祉課（地域支援係）】 - 相談支援体制の強化 - 組織の連携強化 - 人員体制の確保 - 地域ケア会議の充実 - 地域包括支援センター事業評価	- 地域包括支援センターが相談を受けた件数：延べ31,727件 - 地域包括支援センターの設置数：3箇所 3職種一人あたり高齢者数：1,375人 - 地域包括支援センターが介護支援専門員から相談を受けた件数：2,271件／年 - 地域包括支援センター単位での個別地域ケア会議開催回数：31回／年 - 地域包括ケア検討会議（再掲）開催回数：4回／年 - 全国統一指標における達成率：－％	- 地域包括支援センターが相談を受けた件数：延べ33,328件 - 地域包括支援センターの設置数：3箇所 3職種一人あたり高齢者数：1,504人 - 地域包括支援センターが介護支援専門員から相談を受けた件数：1,795件／年 - 地域包括支援センター単位での個別地域ケア会議開催回数：26回／年 - 地域包括ケア検討会議（再掲）開催回数：2回／年 - 全国統一指標における達成率：－％	- 地域包括支援センターが相談を受けた件数：延べ31,000件 - 地域包括支援センターの設置数：3箇所 3職種一人あたり高齢者数：1,350人 - 地域包括支援センターが介護支援専門員から相談を受けた件数：2,300件／年 - 地域包括支援センター単位での個別地域ケア会議開催回数：36回／年 - 地域包括ケア検討会議（再掲）開催回数：4回／年 - 全国統一指標における達成率：80％
	3　地域で支え合えるまち		- ボランティアグループの参加率：15.4％ - 地域づくり活動への参加意向（企画・運営）：37.4％		- ボランティアグループの参加率：20.0％ - 地域づくり活動への参加意向（企画・運営）：45.0％
	(1) 多様な主体の参画と育成支援				
		①多様な社会資源の活用 【地域福祉課（地域支援係）】 - 生活支援体制の整備 - 協議体の設置・活用 - 企業との連携	- 地域支え合い円卓会議：1回／年 - 生活支援コーディネーター（再掲）第1層配置数：2名、第2層配置数：3名 - 協議体（再掲）第1層協議体開催回数：1回／年 - 第2層協議体開催回数：0回／年 - 高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所：46事業所	- 地域支え合い円卓会議：2回／年 - 生活支援コーディネーター（再掲）第1層配置数：2名、第2層配置数：3名 - 協議体（再掲）第1層協議体開催回数：1回／年 - 第2層協議体開催回数：各1回／年 - 高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所：48事業所	- 地域支え合い円卓会議：2回／年 - 生活支援コーディネーター（再掲）第1層配置数：2名、第2層配置数：3名 - 協議体（再掲）第1層協議体開催回数：2回／年 - 第2層協議体開催回数：各3回／年 - 高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所：50事業所
		②多様な担い手の養成、確保 【地域福祉課（地域支援係）】 - 多様な担い手の確保 - 生活支援サポーター養成講座 - 認知症サポーター養成講座 - まちの守り人養成講座 - 市民主体による人材育成活動の支援	- 生活支援サポーター養成講座開催回数：3回／年、養成者数：27人 - 認知症サポーター養成講座開催回数：20回／年、延参加者数：385人 - まちの守り人養成講座開催回数：1回／年、23人	- 生活支援サポーター養成講座開催回数：3回／年、養成者数：34人 - 認知症サポーター養成講座開催回数：17回／年、延参加者数：393人 - まちの守り人養成講座開催回数：8回／年、594人	- 生活支援サポーター養成講座開催回数：3回／年、養成者数：35人 - 認知症サポーター養成講座開催回数：25回／年、延参加者数：700人 - まちの守り人養成講座開催回数：5回／年、350人
	(2) 身近な地域における見守り・交流機会の充実				
		①市民主体の支え合い拠点づくり支援 【地域福祉課（地域支援係）】 - 地域課題の共有、課題解決の場の支援 - つどいの場の設置支援（再掲）	つどいの場運営助成（再掲）：7団体、362,387円	つどいの場運営助成（再掲）：15団体、645,943円	つどいの場運営助成：10団体、500,000円
		②避難行動要支援者支援の推進 【危機管理課】 【地域福祉課】	避難行動要支援者名簿登録者数：1,083名	避難行動要支援者名簿登録者数：1,051名	避難行動要支援者名簿登録者数：1,150名
		③見守り体制の強化 【地域福祉課（地域支援係）】 - 高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定の充実 - まちの守り人養成講座（再掲）	- 高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所（再掲）：46事業所 - まちの守り人養成講座（再掲）開催回数：1回／年、23人	- 高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所（再掲）：48事業所 - まちの守り人養成講座（再掲）開催回数8回／年、594人	- 高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所：50事業所 - まちの守り人養成講座開催回数：5回／年、350人
		老人クラブ等の活動支援 【地域福祉課（地域支援係）】	老人クラブ補助金 市老人クラブ連合会 単位老人クラブ：40団体	老人クラブ補助金 市老人クラブ連合会 単位老人クラブ：40団体	老人クラブ補助金 市老人クラブ連合会 単位老人クラブ：40団体

第7期　　にっしん高齢者ゆめプラン　取組状況調査シート

<基本理念>共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み 【担当】	29年度 (初期値)	30年度	32年度 (目標値)
	(3) 生活支援体制の拡充				
		①地域資源を活用した多様なサービスの創設 【地域福祉課（地域支援係）】 ・生活支援体制の整備（再掲） ・地域資源マップの充実	・生活支援コーディネーター（再掲） 第1層配置数：2名、第2層配置数：3名 ・協議体（再掲） 第1層協議体開催回数：1回／年 第2層協議体開催回数：0回／年	・生活支援コーディネーター（再掲） 第1層配置数：2名、第2層配置数：3名 ・協議体（再掲） 第1層協議体開催回数：1回／年 第2層協議体開催回数：各1回／年	・生活支援コーディネーター（再掲） 第1層配置数：2名、第2層配置数：3名 ・協議体（再掲） 第1層協議体開催回数：2回／年 第2層協議体開催回数：各3回／年
		②生活支援サービスの実施 【介護福祉課】 ・緊急通報システムの取り付け ・訪問理美容サービス ・エコサポート ・配食サービス ・寝具洗濯乾燥サービス ・日常生活用具の給付 【地域福祉課（地域支援係）】 ・移動支援 ・シルバーサポートサービス	・緊急通報システムの取り付け：延127人／年 ・訪問理美容サービス：延48人／年 ・エコサポート：延4334人／年 ・配食サービス：延103人／年 ・寝具洗濯乾燥サービス：延5人／年 ・日常生活用具の給付：延0人／年 ・福祉有償運送運送事業者数：3事業者 ・シルバーサポートサービス：延11人／年	・緊急通報システムの取り付け：延113人／年 ・訪問理美容サービス：延48人／年 ・エコサポート：延4881人／年 ・配食サービス：延97人／年 ・寝具洗濯乾燥サービス：延5人／年 ・日常生活用具の給付：延1人／年 ・福祉有償運送運送事業者数：3事業者 ・シルバーサポートサービス：延6人／年	・緊急通報システムの取り付け：延133人／年 ・訪問理美容サービス：延50人／年 ・エコサポート：延4550人／年 ・配食サービス：延108人／年 ・寝具洗濯乾燥サービス：延5人／年 ・日常生活用具の給付：延2人／年 ・福祉有償運送運送事業者数：3事業者 ・シルバーサポートサービス：延12人／年
4 要介護・認知症のひと家族にやさしいまち			・認知症対応型共同生活介護の増床：72人 ・介護を理由に退職した家族・親族の有無：7.6%		・認知症対応型共同生活介護の増床：72人 ・介護を理由に退職した家族・親族の有無：7.6%
	(1) 相談支援体制と関係機関のネットワーク強化				
		①相談支援体制の充実 【地域福祉課（地域支援係）】 ・地域包括支援センターにおける相談支援体制の強化（再掲） ・市の福祉相談支援体制の充実 ・在宅医療・介護連携支援センターの設置・運営（再掲） ・薬剤師会による「ものわずれ相談窓口」の充実 ・栄養ケアサポート薬局による相談支援 ・尾張東部成年後見センターによる相談支援	・地域包括支援センターが相談を受けた件数（再掲） 延べ31,727件 ・地域包括支援センター単位での個別地域ケア会議開催回数（再掲）：31回／年 ・地域包括ケア検討会議（再掲） 開催回数：4回／年 ・在宅医療・介護連携支援センター（やまびこ日進）相談件数：一件／年 ・成年後見センター相談支援人数：46人／年 （認知症高齢者）	・地域包括支援センターが相談を受けた件数（再掲） 延べ33,328件 ・地域包括支援センター単位での個別地域ケア会議開催回数（再掲）：26回／年 ・地域包括ケア検討会議（再掲） 開催回数：2回／年 ・在宅医療・介護連携支援センター（やまびこ日進）相談件数：20件／年 ・成年後見センター相談支援人数：48人／年 （認知症高齢者）	・地域包括支援センターが相談を受けた件数： 延べ31,000件 ・地域包括支援センター単位での個別地域ケア会議開催回数：36回／年 ・地域包括ケア検討会議（再掲） 開催回数：4回／年 ・在宅医療・介護連携支援センター（やまびこ日進）相談件数：20件／年 ・成年後見センター相談支援人数：46人／年 （認知症高齢者）
		②認知症の理解と知識の普及 【地域福祉課（地域支援係）】 ・認知症サポーターの養成 ・地域への出前講座の開催 ・認知症関係の研修会の開催	・認知症サポーター養成講座（再掲） 開催回数：20回／年、延参加者数：385人 ・認知症出前講座開催数：2回／年	・認知症サポーター養成講座（再掲） 開催回数：17回／年、延参加者数：393人 ・認知症出前講座開催数：4回／年	・認知症サポーター養成講座 開催回数：25回／年、延参加者数：700人 ・講演会、出前講座等の開催数：3回／年
		③関係機関のネットワーク強化 【地域福祉課（地域支援係）】 ・地域における支援体制の構築 ・認知症ケアパスの活用 ・高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定の充実（再掲） ・認知症になっても安心して暮らせる地域づくり連携協定の充実	・高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所（再掲）：46事業所	・高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所（再掲）：48事業所	・高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定締結事業所：50事業所
		④認知症地域支援施策の推進 【地域福祉課（地域支援係）】 ・認知症地域支援推進員の配置 ・医療・介護等の支援ネットワーク構築 ・認知症対応力向上のための支援 ・相談支援・支援体制構築	・認知症地域支援推進員数：一名 ・認証家族交流会開催数：12回／年 ・認知症カフェ箇所数：1箇所	・認知症地域支援推進員数：1名 ・認知症家族交流会開催数：12回／年 ・認知症カフェ箇所数：4箇所	・認知症地域支援推進員数：1名 ・認証家族交流会開催数：12回／年 ・認知症カフェ箇所数：5箇所
		⑤認知症初期集中支援チームによる早期診断・早期対応 【地域福祉課（地域支援係）】 ・認知症初期集中支援チームの設置 ・認知症支援ネットワークの構築	・認知症初期集中支援チーム会議：開催数一回／年 ・認知症初期集中支援チーム：対応数 一件／年	・認知症初期集中支援チーム会議：開催数12回／年 ・認知症初期集中支援チーム：対応数 4件／年	・認知症初期集中支援チーム会議：開催数12回／年 ・認知症初期集中支援チーム：対応数 5件／年

第7期 にっしん高齢者ゆめプラン 取組状況調査シート

<基本理念>共に支え合い、健やかに暮らし、誰もが尊重されるまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

基本 目標	施策の 方向性	主な取り組み 【担当】	29年度 (初期値)	30年度	32年度 (目標値)
	(2) 家族介護者への支援充実				
		①認知症の人とその家族の支援 【地域福祉課（地域支援係）】 ・「認知症やさしい手ネットにっしん」の普及促進 ・認知症徘徊探索模擬訓練の開催支援 ・高齢者の見守りシールの活用 ・認知症カフェの設置 ・認知症家族交流会の開催 【介護福祉課】 ・認知症高齢者等位置情報（GPS）サービス費助成	・認知症徘徊SOSネットワーク（認知症やさしい手ネットにっしん）登録者数：113人 ・認知症高齢者等行方不明時搜索訓練開催数：1回／年 ・認証家族交流会開催数：1 2回／年 ・認知症カフェ箇所数：1 箇所 ・認知症高齢者等位置情報（GPS）サービス費助成 4人／年	・認知症徘徊SOSネットワーク（認知症やさしい手ネットにっしん）登録者数：117人 ・認知症高齢者等行方不明時搜索訓練開催数：1回／年 ・認知症家族交流会開催数：1 2回／年 ・認知症カフェ箇所数：4 箇所 ・認知症高齢者等位置情報（GPS）サービス費助成 1人／年	・認知症徘徊SOSネットワーク（認知症やさしい手ネットにっしん）登録者数：130人 ・認知症高齢者等行方不明時搜索訓練開催数：1回／年 ・認証家族交流会開催数：1 2回／年 ・認知症カフェ箇所数：5 箇所 ・認知症高齢者等位置情報（GPS）サービス費助成 10人／年
		②介護休業制度の普及促進 【市民協働課・産業振興課】	・市ホームページでの情報提供・広報掲載 ・社会保険労務士による労働相談：12回／年	・市ホームページでの情報提供・広報掲載 ・社会保険労務士による労働相談：12回／年	・市ホームページでの情報提供・広報掲載 ・社会保険労務士による労働相談：12回／年
	(3) 高齢者の虐待防止・権利擁護				
		①高齢者の権利擁護の推進 【地域福祉課（福祉相談係）】 ・虐待の早期発見・早期対応 ・高齢者虐待ネットワークの構築 ・成年後見制度等の利用促進 ・市民後見人の養成	・虐待ネットワーク会議の開催：1回／年 ・成年後見制度市長申立件数：1 件／年 ・市民後見人養成講座開催回数：5回／年 ・高齢者虐待の啓発についての勉強会 3回／年 ・市民後見人バンク登録者数：5人／第2期（H29-30） ・市民後見人受任者数：2人／第2期（H29-30）	・虐待ネットワーク会議の開催：1回／年 ・成年後見制度市長申立件数：0件／年 ・市民後見人養成講座開催回数：5回／年 ・高齢者虐待の啓発についての勉強会 3回／年 ・市民後見人バンク登録者数：5人／第2期（H29-30） ・市民後見人受任者数：2人／第2期（H29-30）	・虐待ネットワーク会議の開催：1回／年 ・成年後見制度市長申立件数：3 件／年 ・市民後見人養成講座開催回数：5回／年 ・高齢者虐待の啓発についての勉強会 6回／年 ・市民後見人バンク登録者数：8人／第2期（H29-30） ・市民後見人受任者数：5人／第2期（H29-30）
5 地域共生社会の実現			・家族や友人・知人以外の相談相手：39.7%		・家族や友人・知人以外の相談相手：35.0%
	(1) 「我が事・丸ごと」の地域共生社会の実現				
		①地域課題の解決力の強化 ・地域課題の解決に向けた体制整備 ・包括的な相談支援体制の構築 【地域福祉課・介護福祉課・保険年金課・健康課・子育て支援課・こども課】	・福祉まちづくり協議会数：2 箇所 ・生活支援コーディネーター（再掲） 第1層配置数：2名、第2層配置数：3名 ・協議体（再掲） 第1層協議体開催回数：1回／年 第2層協議体開催回数：0回／年	・福祉まちづくり協議会数：2 箇所 ・生活支援コーディネーター（再掲） 第1層配置数：2名、第2層配置数：3名 ・協議体（再掲） 第1層協議体開催回数：1回／年 第2層協議体開催回数：各1回／年	・福祉まちづくり協議会数：3 箇所 ・生活支援コーディネーター（再掲） 第1層配置数：2名、第2層配置数：3名 ・協議体（再掲） 第1層協議体開催回数：2回／年 第2層協議体開催回数：各3回／年
		②地域丸ごとのつながりの強化 ・育成、就労、社会参加の場の整備 ・地域ネットワークの強化 【地域福祉課・介護福祉課・保険年金課・健康課・子育て支援課・こども課】			
		③地域を基盤とする包括的支援の強化 ・包括的支援体制の構築 ・共生型サービスの創設 【地域福祉課・介護福祉課・保険年金課・健康課・子育て支援課・こども課】			

○ 被保険者数の状況 (H31.3月末現在)

計画値に比べ、65歳以上の第1号被保険者見込み数は121名増となっている。

第1号被保険者数	平成30年度
計画値	18,023
実績値	18,144
差	+121

○ 要介護（支援）認定者数の状況 (H31.3月末現在)

計画値に比べ、認定者数の合計が136名増となっている。主な原因は、要介護3・4の認定者数が増加しているためである。

(第1号被保険者)

認定者数	計画値	実績値	差
要支援1	421	436	+15
要支援2	461	464	+3
要介護1	503	514	+11
要介護2	436	435	-1
要介護3	294	340	+46
要介護4	285	368	+83
要介護5	259	238	-21
合計	2,659	2,795	+136

○ 認定率（認定者数／被保険者数） (H31.3月末現在)

計画値	実績値
14.75 %	15.40%

○ 給付費の状況 (H31.3月分まで)

平成30年度の執行率は、介護給付・予防給付を含めた総給付費（Ⅰ＋Ⅱ）で94.2%となっており、年度末において、計画値内5.8%を残した給付実績となっている。

なお、給付の特徴としては、予防給付における特定施設入居者生活介護、特定福祉用具販売のほか、訪問リハビリも実績が伸びている。

予防給付費

(単位：千円)

項 目	H30 年度 計画値(A)	3 月末時点 執行額 (B)	執行率 (%) (B)/(A)
(1) 介護予防サービス	148,867	141,817	95.3%
介護予防訪問サービス	32,770	33,142	101.1%
介護予防訪問介護	0	14	-
介護予防訪問入浴介護	0	0	-
介護予防訪問看護	26,185	23,560	90.0%
訪問リハビリテーション	1,067	3,227	302.4%
居宅療養管理指導	5,518	6,341	114.9%
介護予防通所サービス	28,952	27,032	93.4%
介護予防通所介護	0	29	-
通所リハビリテーション	28,952	27,003	93.3%
介護予防短期入所サービス	4,338	4,305	99.2%
短期入所生活介護	2,739	2,858	104.3%
短期入所療養介護	1,599	1,447	90.5%
福祉用具・住宅改修サービス	30,325	32,400	106.8%
介護予防福祉用具貸与	18,299	18,087	98.8%
特定福祉用具販売	1,454	2,015	138.6%
介護予防住宅改修	21,694	12,298	56.7%
特定施設入居者生活介護	20,940	24,860	118.7%
介護予防支援	20,420	20,078	98.3%
(2) 地域密着型サービス	3,903	2,058	52.7%
認知症対応型通所介護	0	0	0.0%
小規模多機能型居宅介護	3,903	2,058	52.7%
認知症対応型共同生活介護	0	0	0.0%
予防給付費計 (Ⅰ)	152,770	143,874	94.2%

※単位未満四捨五入のため、合計が合わないことがある。

令和元年7月29日(月) 日進市高齢者福祉・介護保険事業運営協議会
資料1-2

介護給付費

(単位：千円)

項 目	H30 年度 計画値(A)	3 月末時点 執行額 (B)	執行率 (%) (B)/(A)
(1) 居宅サービス	2,243,314	2,110,694	94.1%
訪問サービス	940,986	825,638	87.7%
訪問介護	634,386	532,794	84.0%
訪問入浴介護	30,503	33,341	109.3%
訪問看護	209,271	183,108	87.5%
訪問リハビリテーション	5,326	10,500	197.1%
居宅療養管理指導	61,499	65,895	107.1%
通所サービス	631,145	633,819	100.4%
通所介護	418,441	441,732	105.6%
通所リハビリテーション	212,705	192,088	90.3%
短期入所サービス	156,444	144,179	92.2%
短期入所生活介護	117,385	108,579	92.5%
短期入所療養介護	39,059	35,601	91.1%
福祉用具・住宅改修サービス	139,124	123,235	88.6%
福祉用具貸与	121,158	107,893	89.1%
福祉用具購入費	4,563	4,428	97.0%
住宅改修費	13,403	10,914	81.4%
特定施設入居者生活介護	188,863	202,047	107.0%
居宅介護支援	186,752	181,775	97.3%
(2) 地域密着型サービス	589,801	504,489	85.5%
定期巡回夜間対応型 訪問介護看護	20,716	24,024	116.0%
夜間対応型訪問介護	0	0	
認知症対応型通所介護	49,179	34,280	69.7%
小規模多機能型居宅介護	81,584	63,696	78.1%
認知症対応型共同生活介護	227,650	196,293	86.2%
地域密着型特定施設 入居者生活介護	0	0	
地域密着型介護老人 福祉施設入所者生活介護	88,568	89,099	100.6%
看護小規模多機能型居宅介護	0	1,488	
地域密着型通所介護	122,104	95,608	78.3%

令和元年7月29日(月) 日進市高齢者福祉・介護保険事業運営協議会
資料1-2

項 目	H30 年度 計画値(A)	3 月末時点 執行額 (B)	執行率 (%) (B)/(A)
(3) 介護保険施設サービス	1,141,932	1,129,125	98.9%
介護老人福祉施設	496,096	472,217	95.2%
介護老人保健施設	597,212	603,847	101.1%
介護療養型医療施設	48,624	53,060	109.1%
介護給付費計 (Ⅱ)	3,975,047	3,744,307	94.2%

※単位未満四捨五入のため、合計が合わないことがある。

(単位：千円)

項 目	H30 年度 計画値(A)	3 月末時点 執行額 (B)	執行率 (%) (B)/(A)
総給付費 (Ⅰ + Ⅱ)	4,127,817	3,888,181	94.2%

その他給付費

(単位：千円)

項 目	H30 年度 計画値(A)	3 月末時点 執行額 (B)	執行率 (%) (B)/(A)
(1) 特定入所者介護サービス等費	122,027	78,737	64.5%
(2) 高額介護サービス等費	149,803	109,680	73.2%
(2-1) 高額医療合算 介護サービス費	30,808	5,942	19.3%
(3) 審査支払手数料	2,678	2,459	91.8%
その他給付費計 (Ⅲ)	305,316	196,818	64.5%

※単位未満四捨五入のため、合計が合わないことがある。

(単位：千円)

	H30 年度 計画値 (A)	3 月末時点 執行額 (B)	執行率 (%) (B)/(A)
合計 (Ⅰ) + (Ⅱ) + (Ⅲ)	4,433,133	4,084,999	92.1%

○ 日進市内の指定介護サービス事業者の状況 (R1.6.1 現在)

(1) 居宅サービス

区分	指定事業者数 (介護)	指定事業者数 (予防)
訪問介護	22	
訪問入浴介護	0	0
訪問看護	7	7
訪問リハビリテーション	(診療所等みなし 指定除く) 2	(診療所等みなし 指定除く) 2
通所介護	16	
通所リハビリテーション	3	3
短期入所生活介護	4	4
短期入所療養介護	4	4
居宅療養管理指導	(診療所等みなし指定)	
福祉用具貸与	3	3
福祉用具販売	3	3
特定入所者生活介護	4	4
居宅介護支援	18	3

(2) 地域密着型サービス

区分	指定事業者数 (介護)	指定事業者数 (予防)
定期巡回随時対応型訪問介護看護	1	
夜間対応型訪問介護	0	
認知症対応型通所介護	2	2
小規模多機能型居宅介護	2	2
認知症対応型共同生活介護	5	5
地域密着型特定施設入所者生活介護	0	
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	
看護小規模多機能型居宅介護	0	
地域密着型通所介護	5	

(3) 施設サービス

区分	指定事業者数
介護老人福祉施設	3
介護老人保健施設	3
介護療養型医療施設	1

(4) 介護予防・日常生活支援総合事業

区分	指定事業者数 (相当サービス)	指定事業者数 (A型サービス)
訪問型	15	10
通所型	17	8

取組と目標に対する自己評価シート(フェイスシート)

タイトル	専門職を活用した健康づくり・介護予防
------	--------------------

現状と課題

【現状】

- ・本市の人口は増加し続けており、人口総数の増加に応じて高齢者数も増加し続けています。
(平成24年:15,018人 ⇒ 平成29年:17,695人 約1.2倍)
- ・前期高齢者は平成27年度以降減少に転じていますが、後期高齢者数は平成24年から平成29年にかけて1.3倍となっています。
- ・2025年までの高齢化率は約20%で推移するものの、第7期計画期間中に後期高齢者数が前期高齢者数を上回り、その差は広がっていくことが想定されます。
- ・一般高齢者を対象としたアンケート調査では、運動器リスクの該当者割合が20.4%、転倒リスクの該当者割合が25.3%となっています。
- ・介護予防のための講習や体操への参加について、「参加している」「今後参加してみたい」が45.7%となっています。
- ・参加したい介護予防事業の内容として「筋力やバランス力、柔軟性などを高めるための、軽い健康体操」が51.6%となっています。

【これまでの取組】

- ・専門職の監修のもとゆうゆう体操教室の運動プログラムを改編しました。
- ・ふれあい・いきいきサロンへ理学療法士等の専門職を派遣し、介護予防等に関する講座を開催してきました。

【課題】

- ・効果的な健康づくり・介護予防のためには、活動機会の充実と、効果の向上が必要であり、環境整備や専門知識を活かして、健康づくり・介護予防の効果を高めることが求められています。

第7期における具体的な取組

①ゆうゆう体操教室、地域版介護予防教室

理学療法士や愛知県介護予防リーダー講師による体操教室で、運動器の機能向上・維持を図ります。

②つどいの場専門職派遣

理学療法士・作業療法士等の専門職が「つどいの場」等へ訪問し、リハビリテーション等の指導を行い、介護予防の充実を図ります。

目標(事業内容、指標等)

①ゆうゆう体操教室、地域版介護予防教室

平成29年度:開催箇所数1箇所、開催回数46回、延べ参加者数1,592名
⇒平成32年度:開催箇所数3箇所、開催回数100回、延べ参加者数3,000名

②つどいの場専門職派遣

平成 29 年度：派遣箇所数 13 箇所、延べ派遣回数 39 回
⇒平成 32 年度：派遣箇所数 20 箇所、延べ派遣回数 50 回
※第 7 期では、各教室への参加者数や派遣回数だけでなく、新たな開催箇所や派遣箇所の拡充を目指します。

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
 - 評価の方法
 - ・ 毎月や四半期ごとの実施報告書等による参加数を計上
 - ・ 専門職派遣実績を計上
- ②及び③については、既存事業への参加者数等も把握するが、新たな開催箇所や派遣箇所が充実した分の評価を重視します。

取組と目標に対する自己評価シート

年度	平成 3 0 年度
----	-----------

前期（中間見直し）

実施内容
（平成 30 年 12 月末時点） ①ゆうゆう体操教室、地域版介護予防教室 開催箇所数 2 箇所、開催回数 43 回、延べ参加者数 1,669 名 ②つどいの場専門職派遣 派遣箇所数 12 箇所、延べ派遣回数 34 回
自己評価結果
自己評価結果【○】 ①平成 30 年 4 月から、地域版介護予防教室の開催箇所を新たに 1 箇所増やすことができた。 また、ゆうゆう体操教室への参加者数も増加傾向にある。 ②各専門職の職能団体等に対して派遣箇所の拡充を打診し、前向きな回答を得ることができた。
課題と対応策
・新たな地域版介護予防教室の開設にむけ、実施が可能と考えられる事業所等への働きかけを行う。 ・専門職の派遣を希望するつどいの場を把握しきれていないため、つどいの場を訪問する等によりニーズを把握する。

後期（実績評価）

実施内容
①ゆうゆう体操教室、西部地区版介護予防教室 ・ゆうゆう体操教室：開催回数 44 回、延べ参加者数 2,109 名 ・西部地区版介護予防教室：開催回数 12 回、延べ参加者数 164 名 ②つどいの場専門職派遣 派遣箇所数 12 箇所、延べ派遣回数 37 回
自己評価結果
自己評価結果【○】 ①平成 30 年 4 月から、地域版介護予防教室の開催箇所を新たに 1 箇所増やすことができた。 また、ゆうゆう体操教室への参加者数も増加傾向にある。 ②各専門職の職能団体等に対して派遣箇所の拡充を打診し、前向きな回答を得ることができた。

課題と対応策

- ・新たな地域版介護予防教室の開設にむけ、実施が可能と考えられる事業所等への働きかけを行う。
- ・専門職の派遣を希望するつどいの場を把握しきれていないため、つどいの場を訪問する等によりニーズを把握する。

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	サービス見込み量に関する取組と目標
------	-------------------

現状と課題

日進市では、近隣市町と比べるとサービス事業所の数が多く、サービスが充実している傾向にある。しかしながら、第7期中に、75歳以上の被保険者数が65歳から74歳までの被保険者数を上回ることが見込まれる等、認定者数の増加とサービス需要の増加が見込まれる。

第7期における具体的な取組

今後増加することは見込まれる認知症高齢者への対応として、施設、居住系サービスの充実を図る

目標（事業内容、指標等）

認知症対応型共同生活介護事業所の整備

目標の評価方法

- 時点
 - ☐ 中間見直しあり
 - ☒ 実績評価のみ
- 評価の方法
 - 事業所の整備状況

取組と目標に対する自己評価シート

30年度	サービス見込み量に関する取組と目標
------	-------------------

前期（中間見直し）

実施内容
認知症対応型共同生活介護事業所の運営状況について分析をした。市内には5つ事業所があるが、人員の確保に苦勞しており、新たに事業所を新設するよりも、既存の事業所のユニットを増やしたほうが、人員基準を満たしやすいのではないかという結論に達した。
自己評価結果
人員の確保という介護業界の慢性的な問題があるなかで、事業所数ではなくユニット数の増加という対応案は実現性が高いと考える。
課題と対応策
ユニット数の増加については、市内の事業所との調整が必要。

後期（実績評価）

実施内容
平成31年3月18日に公募を開始する旨を市内の事業所へ周知した。
自己評価結果
応募について前向きな相談を受けており実現の可能性は高いと考える。
課題と対応策
応募の意向のある事業所について、支援が必要であれば対応する。

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	介護給付適正化に関する取組と目標
------	------------------

現状と課題

- ・事業所への実地指導の近隣市町との共同実施

第 7 期における具体的な取組

- ・事業所への実地指導については、第 7 期から共同実施を開始したので、共同事務所の開設から運営体制の構築を実施する。

目標（事業内容、指標等）

- ・実地指導については、国の定める 6 年に 1 度の実地指導に対して、3 年に 1 度程度の頻度とする。

目標の評価方法

- 時点
 - ☐ 中間見直しあり
 - ☒ 実績評価のみ
- 評価の方法
 - 実地指導を行った事業所の数

取組と目標に対する自己評価シート

30年度

介護給付適正化に関する取組と目標

前期（中間見直し）

実施内容

事業所への実地指導について、近隣5市町で共同実施体制を構築し、実地指導調書の作成を行い、調書に基づいた実地指導を行った。

自己評価結果

調書を作成したことにより、実地指導の手法を構築することが出来た。今後は調書に基づき実地指導を重ね、指導のスキルを習得していくこととする。

課題と対応策

調書の作成により、指導に必要な書類は整っているが、実地指導の現場の経験が不可欠なので、主担当、副担当及び後任候補職員がバランスよく指導経験を積む必要がある。

後期（実績評価）

実施内容

平成30年度は作成した調書に基づき、16の事業所へ実地指導を行った。

自己評価結果

管内の事業所数45に対する実績は35.6%となり、職員のスキルアップを図ることが出来た。

課題と対応策

引き続き、副担当及び後任候補職員とともに実地指導を行いスキルのアップと継承をしていく。

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価結果

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

保険者名	第7期介護保険事業計画に記載の内容				H30年度(年度末実績)		
	区分	現状と課題	第7期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
日進市	①自立支援・介護予防・重度化防止	【現状】 ・本市の人口は増加し続けており、人口総数の増加に応じて高齢者数も増加し続けています。 (平成24年：15,018人 → 平成29年：17,695人 約1.2倍) ・前期高齢者は平成27年度以降減少に転じていますが、後期高齢者数は平成24年から平成29年にかけて1.3倍となっています。 ・2025年までの高齢化率は約20%で推移するものの、第7期計画期間中に後期高齢者数が前期高齢者数を上回り、その差は広がっていくことが想定されます。 ・一般高齢者を対象としたアンケート調査では、運動器リスクの該当者割合が20.4%、転倒リスクの該当者割合が25.3%となっています。 ・介護予防のための講習や体操への参加について、「参加している」「今後参加してみたい」が45.7%となっています。 ・参加したい介護予防事業の内容として「筋力やバランス力、柔軟性などを高めるための、軽い健康体操」が51.6%となっています。 【これまでの取組】 ・専門職の監修のもとゆうゆう体操教室の運動プログラムを改編しました。 ・ふれあい・いきいきサロンへ理学療法士等の専門職を派遣し、介護予防等に関する講座を開催してきました。 【課題】 ・効果的な健康づくり・介護予防のためには、活動機会の充実と、効果の向上が必要であり、環境整備や専門知識を活かして、健康づくり・介護予防の効果を高めることが求められています。	①ゆうゆう体操教室、地域版介護予防教室 ②つどいの場専門職派遣	①ゆうゆう体操教室、地域版介護予防教室 平成29年度：開催箇所数1箇所、開催回数46回、延べ参加者数1,592名 ⇒平成32年度：開催箇所数3箇所、開催回数100回、延べ参加者数3,000名 ②つどいの場専門職派遣 平成29年度：派遣箇所数13箇所、延べ派遣回数39回 ⇒平成32年度：派遣箇所数20箇所、延べ派遣回数50回	①ゆうゆう体操教室、西部地区版介護予防教室 ・ゆうゆう体操教室：開催回数 44回、延べ参加者数 2,109名 ・西部地区版介護予防教室：開催回数12回、延べ参加者数 164名 ②つどいの場専門職派遣 派遣箇所数12箇所、延べ派遣回数37回	○	・新たな地域版介護予防教室の開設にむけ、実施が可能と考えられる事業所等への働きかけを行う。 ・専門職の派遣を希望するつどいの場を把握しきれていないため、つどいの場を訪問する等によりニーズを把握する。
日進市	②給付適正化	事業所への実地指導の近隣市町との共同実施	事業所への実地指導については、第7期から共同実施を開始したので、共同事務所の開設から運営体制の構築を実施する。	実地指導については、国の定める6年に1度の実地指導に対して、3年に1度程度の頻度とする	平成30年度は作成した調書に基づき、16の事業所へ実地指導を行った。	○	引き続き、副担当及び後任候補職員とともに実地指導を行いスキルのアップと継承をしていく。
日進市	③サービス利用見込み	日進市では、近隣市町と比べるとサービス事業所の数が多く、サービスが充実している傾向にある。しかしながら、第7期中に、75歳以上の被保険者数が65歳から74歳までの被保険者数を上回ることが見込まれる等、認定者数の増加とサービス需要の増加が見込まれる。	今後増加することは見込まれる認知症高齢者への対応として、施設、居住系サービスの充実を図る	認知症対応型共同生活介護事業所の整備	平成31年3月18日に公募を開始する旨を市内の事業所へ周知した。	◎	応募の意向のある事業所について、支援が必要であれば対応する。

第8期にっしん高齢者ゆめプラン策定スケジュール（案）

令和元年7月29日（月）
日進市高齢者福祉・介護保険事業運営協議会
資料2

	令和元年 8月	9月	10月	11月	12月	令和2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成30年 1月	2月	3月
■1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査（アンケート）																				
調査の実施	調査説明会	委託契約			調査票発送 準備	発送・回収	データ集計	データ分析	報告書作成											
■2. 各種基礎データ作成と計画の立案																				
①現状把握									調査結果活 用例の提示	第7期計画の進捗状況等 現状把握										
②介護保険の推 計・見込（サービス 見込み量等）												基本方針 （案）の提示	調査結果の分析を基に、 介護保険サービス見込み量等の 設定作業			保険料 シミュレーション作業				
③施策事業の整 理・分析									現状の施策事業の整理・課題の抽出					施策検討						
④関係機関・団体 等ヒアリング				市内の介護サービス事業 所へのアンケート調査																
⑤計画書の立案												骨子		素案1		素案2		パブリックコ メント実施		計画書 完成
■3. 高齢者福祉・介護保険事業計画運営協議会の開催																				
運営協議会 ※会議日程は予定						趣旨説明・ 進捗報告							課題・ 骨子提案		計画案		計画案		計画の確認	
地域包括ケア検討 会議 ※会議日程は予定										趣旨説明・ 進捗報告			課題・ 骨子提案		計画案		計画案		計画の確認	